

JAしまねびより

2018

6

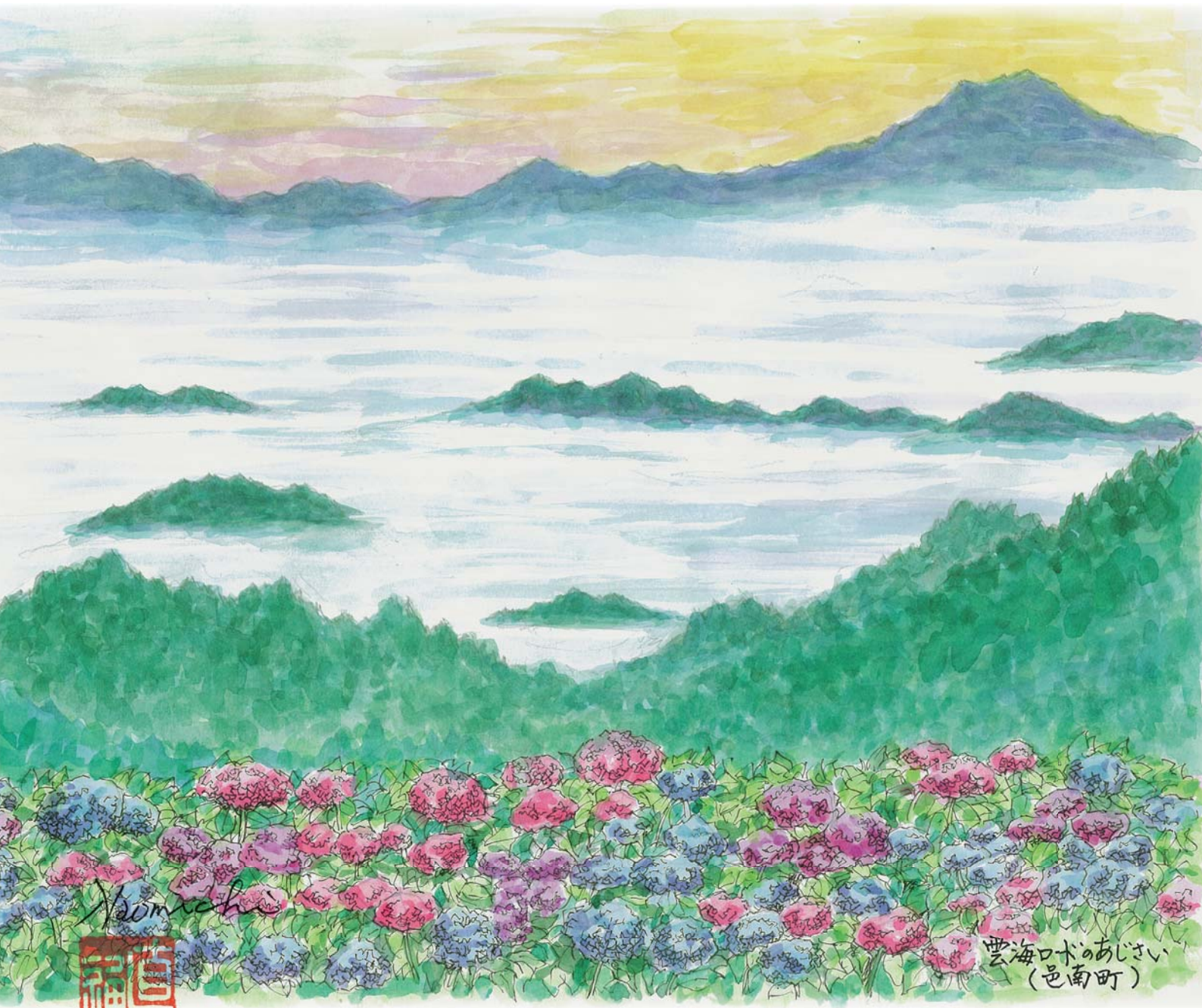
June Vol.27

特集

島根のいいもの再発見!! 「邑南町 サニーレタス」 島根おおち地区本部

来月の
外勤日は

7月21日(土)



雲海ロケのあじさい
(邑南町)

島根には誇れる農産品がたーつくさん！
島根のいいものの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【邑南町 サニーレタス】

6月は、島根おち地区本部。邑南町八色石（やいろいし）に1ターンし、サニーレタスを生産している、西森浩隆さんにお話しをお伺いしてきました。



お話しをお伺いした西森浩隆さん。

1ターンしたきっかけを教えてください

私は広島市の出身で、市内の洋菓子店でパティシエとして働いていました。広島には洋菓子店はたくさんあり、競争が激しく、将来独立することを考えた場合に何か特徴のあるケーキ屋を開きたいと考えていました。そこで野菜を使ったお菓子作りをしたいと思います、30才の時に研修先を探していたところ「おーなんアグサボ隊」という制度を知り、邑南町へ1ターンしました。この制度を活用し、地域おこし協力隊として3年間、町の専用農場や周辺の農家、営農組織に出向き、定植や収穫、出荷作業を手伝いながら、農作業に必要な経験を積みまし



就農直後から取り組む花の栽培。ヒマワリが定植されましたが、一年を通したサイクルで品種が練られています。

た。まず研修の1年目に花のトルコギキョウの研修を受けました。携わったトルコギキョウの栽培で、邑南町農産物品評会の「優秀賞」を受賞したこともあり、花栽培の面白さにひかれ、農家になる夢が膨らみました。研修を終えた2017年から本格的に就農、メインは花の栽培で、トルコギキョウやヒマワリ、ストック、ケイトウなどの花を生産するほか、サニーレタスと広島菜を栽培しています。

サニーレタスの栽培はどのように行っていますか？

花を栽培しているハウスの横の露地、約6アールでサニーレタスを生産しています。旧瑞穂町にある標高330mの八色石は、比較的涼しい気候なので、サニーレタスの生産には向いています。本格的に花を出荷する前の収入源として、春にサニーレタスを生産しています。3月のはじめに播種してから約60日で収穫します。大きさが揃った規格品をJAに出荷し、島根おち野菜のブランド名「愛菜の郷」

として、県東部の出雲・松江両市をはじめ、米子市や広島市などに出荷しています。



山間に位置する西森さんの圃場。空気も水も綺麗な環境が作物の良さを簡単に想起させてくれます。

新規就農した感想はいかがですか？

農業に関しては「ド」が付くくらい、シロウトでした。植物が病気になると思った時は、ただの冗談かと思っただけです。実際に就農してみると、病気や虫などの対

策をするのを目の当たりにし、農家が見えないところで品質向上のために大変な努力をしているのを知りました。サニーレタスは栽培するのは簡単な方だと思っていましたが、実際に自分で作ってみると、天気に左右され生育スピードが計画通りにいかない、大きさが揃わないなど、農家の大変さを痛感しました。近所にサニーレタスを栽培している方がいるので、アドバイスをいただきながら、畑を見比べ、試行錯誤を繰り返しています。また就農時には、ハウスや機械などの設備投資の資金や運転資金なども課題でしたが、県や町、JAしまねの支援を受けることで就農することができました。私は小売業で働いていたので



分からないことだらけ、という中で、見聞きしながら最良を見つけ出すというのが西森スタイル。

常に商品のロスを意識していましたが、規格品の全量をJAに出荷できるので、経営という観点では農業の大きなメリットだと感じています。

邑南町に「ターン」を決めた理由は何かですか？

はじめから邑南町に住みたかったというわけではなく、研修制度が充実していたという理由で邑南町を選びました。現在は畑に歩いていける距離の一軒家に住んでいます。住んでみると、地域の人がとても優しく迎え入れてくださり、気軽に色々な話や相談ができるので、ここを選んで良かったと思っています。独立して2年目になりますが、す



地域や我々JAとの関わりが、継続の力になっているとお話をいただきました。

べての栽培道具や機械も一気に揃えられません。近所の農家の方が道具を貸してくださいなど、地域の支援がとても心強いです。

今後の抱負や将来の夢など教えてください。

農業で経営ベースを作って、最終的には自分で作った作物でケーキなどのお菓子を

作っていきたくは考えていませんが、自治会が農作物の加工場を作るなど、邑南町は新しいことへ挑戦することに積極的だと感じています。もともと作ることが好きでパティシエになりましたが、今は農業で安定した経営基盤を作り、地域の加工場も活用しながら、私も新しい夢に向かって進んでいきたいです。



お菓子×農業（農作物）というビジョンを優しい眼差しで、まっすぐに語っていただきました。

サニーレタス 一口メモ

邑南町は2014年度から、町への定住と就農に必要な研修を受ける「おーなんアグサポ隊」制度を創設した。これまでは1年間の農業研修を実施していたが、就農するには経験が浅い場合があることや、地域に馴染めずに定住できない、といった課題を抱えていた。新しい制度では、3年間でさまざまな農作業を体験し営農だけでなく、定住後の暮らしを見据えたサポートを強化。担い手を求める地域とのマッチングや、就農イベント、コミュニティー活動への参加を支援し住民との交流を深め、定住しやすい環境づくりを仕掛けている。西森さんが参加した年度では4人が制度を活用、3人が邑南町で就農している。自治体とJA営農指導員を中心に、担い手不足の解消に向けた積極的で地道な努力が続けられている。

チャレンジ / 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

TACのご紹介

Tとことん、**A**会って、**C**コミュニケーション!!



「TAC (Team for Agricultural Coordination)」という全国统一愛称が平成20年に産声をあげ、早いもので10年の区切りを迎えることとなりました。

JAしまねでは全国に先駆けてTAC体制を構築し、全国大会 (TACパワーアップ大会) においてはこれまで旧JA単位で6回、合併後も平成27年にJA表彰を受賞。昨年度は「TACトップランナーズ」としてJA表彰を受賞することができました。現在TACは総勢25名 (女性4名)、県域2名を配置しています。TACは ①地域農業の担い手に訪問してご意見・ご要望をうかがい、誠実にお応えする ②地域農業の担い手の経営に役立つ各種情報をお届けする ③地域農業の担い手のご意見を持ち帰りJA各種業務の改善につなげることを役割としています。

今年度もそのTACが中心となり地域農業を牽引する担い手のニーズに即した総合的な提案活動として「アグリミーティング2018inくにびきメッセ」を開催します。担い手の皆様が抱える様々な問題の解決に向けて、全力でご提案します。是非、ご来場ください。

※TACトップランナーズJAとは過去の全国大会 (2008～2016年) で3回以上JA表彰を受賞したJAのうち、高いレベルの活動を維持しているJAの表彰

アグリミーティング

第8回 農機総合展示会 同時開催

～ 次世代と女性と共に新化 (真価) する島根の農業 ～

入場無料

2018

in

くにびきメッセ

担い手の皆様が抱える様々な問題の解決に向けて、全力でご提案いたします。是非ご来場ください。

日時 平成30年 **7月7日** (土) 9:30～16:00
7月8日 (日) 9:30～14:30

場所 松江市くにびきメッセ大展示場 (1F)

同時開催

島根大産直市

【会場】
くにびきメッセ多目的ホール
7日 (土) 9:30～16:00
8日 (日) 9:30～14:30

島根の農畜産物・
農産加工品が勢ぞろい!

セミナーステージ

セミナー① 安来市 えーひだカンパニー (株) 取締役 小田ちさと氏
次世代 (女性) が地域を繋ぐ (仮)

セミナー② JA全農 耕種総合対策部 中四国営農資材事業所
農業用ドローンを巡る情勢および活用場面と今後の課題 (仮)

その他、農業高校の取組み発表等を予定しています。セミナー①②は、7日は午前・午後、8日は午前に各1回を予定しています。

担い手応援

担い手の課題解決につながる相談ブースを設置します。
※相談の予約も受け付けますので、ご希望がありましたらTACまでお知らせください。

園芸

園芸作における栽培技術や農家所得向上についての提案を行います。
ブースセミナー 浜田市 峠田等氏 カリスマ農家 農文協推奨 (現代農業) 次世代と共に儲かる農業の仕組みづくり (仮)

農業女子

女性の農作業について提案を行います。

スマート農業

スマート農業 (ICT) における提案を行います。

水 稲

水田における栽培技術や農家所得向上について提案を行います。

畜 産

畜産における技術や農家所得向上について提案を行います。

資 材

生産資材のコスト低減、省力化、新技術についての提案を行います。

※上記は、出展予定の一部です。出展内容を変更することもあります。 ※自家用車来客者様は県立プール跡地の駐車場をご利用ください。

お問合せ 7699-0631 島根県出雲市斐川町直江5030
営農対策部担い手対策課 TEL: 0853-25-8142

主催: JALしまね JA全農

4



JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

農事組合法人すがや

農事組合法人すがやでは「島根県の補助事業」とJAしまね農業振興支援事業「しまね農業いきいきプラン」を使って対風雪型ハウスを建設しました。

吉田町菅谷地区は標高が400メートルからなる典型的な中山間地域であり、良質米と夏秋野菜が取れる環境に恵まれています。冬季は1メートル近い雪に覆われるため、毎年、ハウスのビニールをはずす必要があります。

生産者が高齢化するなか、その作業も難しくなっている現状を解決するため、「中山間地域農業の生き残りをかけて」をテーマに島根県とJAに協力をお願いしました。



事業を活用したことにより、無事に対風雪型ハウスを建設することができ、その効果として、広い空間の中で水稻育苗、アムスメロン、玉レタス、ほうれん草と年間を通じて生産活動を営めるようになりました。また冬の豪雪の中でも倒壊の心配もなく次世代に残せる、すがやの財産となっています。

ご協力していただいた皆様方に本当に感謝いたします。ありがとうございました。

理事会情報 (5月9日開催)

協議事項

- ①平成30年4月9日発生の地震の農家被害状況と対策について
- ②平成30年産島根県産米生産・集荷・販売方針について
- ③平成30年度島根米需要拡大事業の取り組み計画について
- ④簡易ガス事業における保安規程の一部改正について
- ⑤葬祭会館利用料の新設および葬祭会館利用管理規程の一部改正について
- ⑥信用事業規程の一部変更について
- ⑦一般社団法人J Aバンク相談所への加入について
- ⑧目的積立金の取崩について
- ⑨平成29年度決算について
- ⑩平成29年度決算にかかる剰余金処分案について
- ⑪子会社の設立および出資について
- ⑫平成30年度事業計画について
- ⑬職制規程の一部改正について
- ⑭米穀事業における物流改革の実施について
- ⑮定款の一部変更について
- ⑯退任理事に対する退職慰労金の支給について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)



雲南

香り高い奥出雲大東茶 良質なお茶届けたい

雲南市大東町にある雲南地区本部の大東製茶工場では5月8日から茶の受け入れが始まりました。大東町茶生産者組合が生産する「やぶきた」を中心に、JA管内の農家から生葉が持ち込まれており、5月中に昨年並みの総量25トンの加工を見込んでいます。

中国山地の岩清水と寒暖差の大きい気候で育った茶で作られた「奥出雲大東茶」は、香り高く甘みが良いとして高く評価されており、管内のAコープや近隣スーパーで販売するほか、雲南市のふるさと納税制度の返礼品としても出品しています。

45アールの茶園を管理する同組合の狩野久芳さん（70）は「4月の低温や雪の影響で生育が抑えられ、管理にも20日程度の遅れが出たがその後は順調。今年も良質なお茶を届けられるよう努めていきたい」と意気込みます。



収穫した茶を運び込む狩野さん（右）

くにびき

胸部CT検診で健康チェック

くにびき地区本部は組合員などを対象に、胸部CT検診を5月中旬から4日間にわたり実施し、約190名が受診しました。

当地区本部では、組合員などの健康づくりに役立ててもらおうとJA島根厚生連と連携し、毎年実施しています。胸部CT検診では、胸部レントゲンでは分からない、微小ながんを早期に発見できるほか、喫煙による慢性閉塞性肺疾患もはっきり抽出されるのが特徴。

受診者は松江市内の4つのAコープ店の駐車場に設置された検診車で、指定された時間に検査を受けました。

4年前から毎年受診している宍道町の永瀬修一さんは「肺がんは発見されにくいということなので、毎年受診し健康管理に努めたい」と検診の重要性を再確認していました。



隠岐

玉若酢神社前で田植えの授業

5月24日、磯小学校・下西保育所は合同で田植え体験を実施されました。園児・児童は爽やかな風がそよぐ中、地元農家・地域の方々の協力・指導のもと、慣れない足さばき手さばきで楽しみながら田植えを行っていました。秋頃には、稲刈り・脱穀体験なども予定され、収穫されたお米は、地域の方々との収穫祭や小学校で催されるお祭りで振る舞われる予定です。

隠岐地区本部の管内では、食農教育の一環として多くの教育現場でお米作り体験を実施されており、今年度も5つの小学校、3つの保育園等で実施される予定となっています。



やすぎ

学校の授業で野菜栽培

4月26日、広瀬中学校は広瀬農青連の上廻達矢さんと盛岡渉さん、そしてJAと連携し技術の時間を使って夏野菜の定植作業を行いました。

同中学校の2年生約60名は学校内にある畑で野菜を育てる授業を受けており、今年はトマト、エダマメ、トウモロコシの3品種を育て、夏休みまでに収穫する予定です。生徒は事前の授業で野菜の栽培に関する講義を受け、農薬を「使う」「使わない」かを自分で考え、今回は約6割の生徒が農薬を使って栽培することを決め作業しました。

生徒は慣れない作業で苦戦しながらも、上廻さんやJA職員からアドバイスを受け、育苗ポットから根が切れないよう優しく抜き、1つ1つ丁寧に定植していきました。

技術の授業を担当されている瀬崎邦博先生は「この授業を通じて、生産者の立場で物事が考えられる人になって欲しいと思います」と話されました。



生徒に定植のやり方を教える盛岡さん

斐川

米卸招き「つや姫」田植え

5月2日、斐川町の農事組合法人アグリード羽根の圃場で、「つや姫」の卸売業者を招いて田植え体験が行われました。同法人の55aのつや姫圃場には、アグリード羽根の生産者やJA職員ら約30名が集まり、田植えを通じて販売先との交流も深めました

招かれた米卸売業者の(株)食創福岡営業所の岩井和夫所長は、沖縄でのつや姫販売につなげており、島根つや姫の沖縄での認知度は年々高くなっています。さっそく、同所長自ら田植え機に乗り込み作業がスタート。慣れない作業ながら丁寧に1時間ほどかけて作業を終えた岩井所長は「30年産米は昨年産以上（の数量を）販売したい」と力強く語り、黒田幸司組合長は「自信を持っておいしいお米を届けるため日夜生産に勤しんでいます。これからも食味の向上のため頑張っていきます」と意気込みを語りました。



田植えを無事に終え関係者で記念撮影

隠岐 どうぜん

島の田植え順調

当地区本部は3つの島から成る「隠岐島前地域」を管内としており、この地域はそのダイナミックな海岸景観から大山隠岐国立公園に指定されています。壮大な大自然と流人の歴史を有し、島独特な食文化も加わり、「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」認定を契機に外国人を含む多くの観光客が来島されています。

本格的な春の訪れを告げる風物詩の「田植え」が、後鳥羽上皇が生涯を終えた中ノ島（海士町）で4月下旬から始まりました。余談ですが、当地が後鳥羽上皇、後醍醐天皇をはじめとする流刑の地であった大きな理由の一つに、稲作が大々的に行われ海産物が豊富で食べるのに困らなかったことが挙げられています。

昭和の時代までは島前地域には水田が多く存在していましたが、現在では海士町のみで、飼料用を含む水稻作付面積が約85haと全盛期の半分以下になっています。うち主食用米は78ha作付けされ、コシヒカリ85%、きぬむすめ10%、つや姫5%の割合で、地産地消の代表格として「海土産米はうまい」と消費者からの評判も上々です。

当地の田植えのピークは5月の中旬ですが、現在のところ不順な天候にもかかわらず順調に苗が生育しています。今年も天候に恵まれ、出荷米の全てが1等に格付けされた昨年と同様の豊作を心から願っています。



石見銀山

女性部が学校給食にふき出荷

JALしほね石見銀山女性部の有志12人が7日、学校給食に出荷するふきの皮むきを行いました。ふきはそれぞれ女性部員が持ち寄り、総量78キロとなりました。

参加した部員たちは大田市学校給食センターの指導のもと、てきぱきと作業をしていき、採れたてのふきを茹で、丁寧に皮を剥いて行きました。

ふきは給食センターにより「ふきと牛肉の炒め物」として8日の学校給食に出されました。牛肉も地元のものを使用しています。

大田市給食センターの地産地消コーディネーター、亀井京子さんは「ふきを集め、皮をむいて出荷してもらい、ありがたく思っている。地元の旬の食材を献立に取り入れ、子供たちに味わってもらいたい」と話しました。

また、森脇岸江女性部長は「子供たちに美味しく食べてもらうため、一生懸命活動していきたい」と話しました。



出荷するふきの皮をむく女性部員

出雲

産学連携で地域興し 稗原マルシェ実行委員会

出雲市稗原町の稗原マルシェ実行委員会が島根大学と取り組む産学連携企画が、今年で3年目を迎えました。地域の農産物を使用した加工品を開発し、「稗原マルシェ」で販売することで、同地区特産の発掘、農業振興を目指します。5月12日には同委員会の内田充治さんの畑で蒟蒻芋の定植作業をしたほか、同地区の施設、農園などの見学会も行いました。

昨年度からは「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の一環として実施。同地区内で最大規模の認定農業者である同委員会の塩野一男委員長は「地域に適した特産の提案など、具体的な成果につなげてもらいたい」と期待します。

今後学生たちは7月1日開催の第6回マルシェに向け、蒟蒻をはじめ稗原の農産物について学び、商品開発に取り組めます。開発はJALしほね出雲女性部稗原支部農家レストランと連携して行う予定です。

「稗原マルシェ」は年2回開催。軽トラ市や農家レストランで地域の農産物の魅力を地区内外に発信しています。



水稻栽培について説明する塩野委員長

西いわみ

JA共済自転車交通安全教室を開催

JA共済連島根とJAしまね西いわみ地区本部は5月8日、益田市津田町の益田市立東陽中学校で自転車交通安全教室を開き、生徒らに交通安全を訴えました。

同教室は、気軽に乗れる自転車の交通事故の怖さを感じ、交通ルールの大切さを学んで事故防止に役立ててもらおうと、自転車に乗る機会が多い中学校、高校向けに実施しています。

JA共済連島根とJAしまねでは県警察本部の協力の下、平成元年度から同教室を順次開催していて、今回が33校目となります。

当日は同校グラウンドを会場に、生徒らの目の前でプロのスタントマンによる交通事故が再現されました。

乗用車との衝突事故やトラックの巻き込み事故の再現では、人間や自転車が衝撃を受ける場面に生徒から思わず声が上がりました。

教室の終わりに挨拶した同校生徒会長の向井千晴さんは「不注意で並列運転や片手運転をしてしまうこともある。今後は交通ルールに気を付けながら安全に登下校したい」と感想を話しました。



運転者が見えない「死角」はどのような状態かをスタッフから教わる生徒たち

島根おおち

邑智郡農林業振興協議会通常総会

邑智郡農林業振興協議会の通常総会が5月7日、川本町悠邑ふるさと会館にて開催されました。

この協議会は、西部農林振興センター、川本町、美郷町、邑南町、邑智郡森林組合、島根県農業共済組合、島根県農業協同組合島根おおち地区本部で組織されており、邑智郡内の農林業振興における事業内容の検討や事業予算について協議することを目的に組織されました。

総会では、29年度の事業実績と収支決算報告及び、30年度の事業計画と収支予算が報告され承認されました。

現在第3期（H28～31年度）戦略プランプロジェクトとして、「耕畜連携による米づくり・牛づくりプロジェクト」、「おおち農林産物なりわい・うるおいづくりプロジェクト」、「原木増産・再造林推進プロジェクト」、「地域製材品の品質向上と出荷拡大プロジェクト」が進められており、管内の農林業振興のために様々な議論を交わし課題解決に向けて取り組みを行っています。

なお、島根おおち管内の桜江町は、同様の組織である浜田農林業振興協議会に属しており、同じく農林業振興計画が進められています。



本店

JAしまね女性部 第1回通常総会開催

4月25日に、出雲市でJAしまね女性部の第1回通常総会が開催されました。昨年4月に発足したJAしまね女性部にとって、今回が初めての総会となりました。

総会では、2017年度の活動報告と18年度の活動計画や収支予算が承認されました。また、18年度は魅力ある楽しい活動を通じて仲間意識や一体感を持ち、女性部間の連携強化や組織基盤の拡大を図ることを確認されたほか、女性部メンバーもJAグループの一員として、JAしまねの自己改革を後押しすることを宣言した申し合わせが満場の拍手をもって賛同されました。

総会後は、くにびき女性部の諏訪智子さんによる活動体験発表が行われ、フランス料理教室といった新しい企画により部員数が増加したことなどが発表されました。部員のみなさんは熱心に耳を傾けていました。諏訪さんは、7月に鳥取県で開かれる「中四国地区JA女性組織リーダー研修会」で、JAしまね女性部を代表して体験発表を行います。



体験発表をする諏訪さんと、聞き入る女性部員のみなさん

いわみ中央

秋には「おにぎり」を作るぞ!!

5月10日「聖バルナバ保育園」【浜田市浅井町】の年長児17名が、バケツ稲作りの田植えを行いました。園ではこれまでにサツマイモ植え付けは経験がありますが、稲は育てた事はありません。ほとんどの園児は田んぼに入ったことがありません。でも「おにぎり」は好きと答えてくれました。

園庭に集合した園児たちは、営農経済部佐々木清繁次長の指導でバケツ田んぼを作ります。

わいわい・がやがや泥んこ遊びは大好きです。二人一組で、バケツに土を入れ肥料を撒き水を張って「バケツ田んぼ」を準備しました。それぞれのバケツに3本株を3カ所植え付けしました。秋には収穫したお米で「おにぎり」作りを約束して帰りました。



タテのカギ



- ① 酒を飲むための小さな器
- ④ 整形——で膝の関節を診てもらった
- ⑥ 料理をのせます
- ⑦ 今度来た新人は仕事の——が早いね
- ⑨ ラストパートです
- ⑪ 本能寺の変を起こした——光秀
- ⑫ 乱れたものをきちんと直すこと
- ⑭ 親から子へ受け継がれます
- ⑯ こういうことはここじゃあ日常——だよ
- ⑰ 虫をよけるため布団の周りにつります
- ⑲ アウトの反対語
- ⑳ サッシと呼ばれることも

ヨコのカギ



- ① 七夕の飾りに使う植物
- ② 歌うことを楽しみに行きます
- ③ シイタケ、シメジ、エリンギなど
- ④ お酒が飲めません
- ⑤ ピカッ、ゴロゴロゴロ
- ⑧ 音を遮断したいときにはめま
- ⑩ 社会の——として地域に貢献する
- ⑪ カタツムリが似合いそうな花。鎌倉の明月院は——寺と呼ばれます
- ⑬ 輪島市や加賀市や金沢市はこの県の市
- ⑮ 鎖国中にも貿易が行われた場所
- ⑰ 書類や伝票につきます
- ⑲ 俳優が演じたり入り込んだり

二重マスの文字を A ~ F の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6		11		16	20
2		9			17	
			10	14		
3	7			15		21
	8		12			
4			13		18	
5					19	

答え

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒693-8585 出雲市今市町106-1
JAしまね 出雲地区本部 情報システム課 「クイズ」係
平成30年7月5日（木）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆
「トケイソウ」

ソ	ウ	カ	イ	ゲ	シ
コ	ミ	ミ	サ	ン	ソ
ネ	ガ	ク	イ	ン	
	メ	リ	ケ	ン	コ
ア		ホ	シ	イ	ミ
イ	オ	ン	イ	ビ	キ
チ	チ	ニ	ワ	ト	リ

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんぽ
健康散歩
JA島根厚生連

あなたの歯は元気ですか？

虫歯より怖い病気があることをご存じですか？大人では虫歯よりも「歯周病」によって歯を失うことが深刻な状況です。厚生労働省の調査によると、30歳以上の8割の人が歯周病またはその予備群といわれており、日本人が歯を失う原因の第一位でもあります。歯周病は、初期の段階では自覚症状があまりなく、自分でチェックするのも難しいため、歯周病であると気づかない人も多くいます。知らず知らずのうちに歯周病になっていて、いつの間にか病状が進行していくところが、歯周病のこわいところなのです。

歯周病とは、歯と歯茎の隙間の歯周ポケットにたまった細菌の塊（歯石）から出る毒素などによって、歯を支える歯周組織に炎症が起こる病気の総称です。よく聞く言葉として、炎症が歯茎だけにある状態を「歯肉炎」、炎症が深部まで進行し、歯を支えている骨が破壊された状態を「歯周炎」といいます。症状が進行すると、最後には歯が抜け落ちてしまうこともあります。

歯周病にならないためには、歯周病菌が増殖しやすい歯周ポケットを日々ケアすることが大切です。歯周ポケットケアのポイントをおさえて、健康な歯と歯ぐきを維持していきましょう。

★ポイント★

① 歯と歯茎の境目を意識してブラッシングする
歯周ポケットをきれいにするには、歯と歯茎の境目を意識して磨くことが大切です。歯ブラシの毛先を歯と歯茎の境目に45度の角度で当て、軽い力で小刻みに動かして磨きましょう。

ハミガキは、歯周病菌を殺菌する成分に加え、歯茎の腫れ、出血を抑えるなどの歯茎に作用する薬用成分が配合された製品を選びましょう。

歯ブラシは先端が細く加工された超極細毛がおすすです。歯周ポケットに毛先が届きやすく効果的に歯垢の除去ができます。音波アシスト機能のついた歯ブラシならより効果的です。

② デンタルフロスや歯間ブラシで歯と歯の間を清掃する
歯ブラシだけでなくデンタルフロスや歯間ブラシを使えば、より効果的に歯と歯の間の歯垢を除去できます。お口の状態に合わせ、次のように使い分けます。

- ・ 歯と歯の隙間が狭い部分 ↓ デンタルフロス
- ・ 歯と歯の隙間が広い部分 ↓ 歯間ブラシ

6月4日は虫歯予防デーですが、この日に限らず毎日のお手入れが肝心です。健康診断だけでなく歯科検診も年間行事にするといいですね。



安全・安心届けます
出雲で採れるうまいもん

デラウェア



生産者インタビュー

今月は浜町でデラウェアを60アール、ピオーネなどの大粒系ぶどうを18アール栽培する、JAしまね出雲ぶどう部会副部会長の石橋貢さんにお話を伺いました！



JAしまね出雲ぶどう部会
副会長 石橋 貢さん

いつからデラウェアを栽培されていますか？

約14年前から栽培しています。家では以前からぶどうを栽培していましたが、父が高齢になったため、それまで勤めていた仕事を辞めて、後継ぎとしてぶどう栽培を始めました。部会の会合に出席するようになって他県の情勢なども分かり、デラウェアが県を代表する特産だと実感するようになりました。今は産地の発展に貢献したいという思いで栽培しています。

デラウェアを栽培してみたいかですか？

私は体力に自身があるので、農業は向いていると思っています。また、自然が相手の仕事で、ストレスも少なく感じています。

デラウェアは年間を通して仕事があります。収穫が終わると、次年産に備え、ぶどう樹のために土壌改良をしたり、剪定を行ったり、12月頃からは加温の準備を

始めます。1月頃からハウスごとに時期をずらして順次加温を行い、その後は生育状況を見ながら、栽培管理を行っていきます。実らせる房数・粒数を調整して、高品質なものができるような気をつけています。

大変なことはなんですか？

前年の様子を見て、次の栽培のことを考えますが、毎年天候も、樹勢も違うので、同じことをしても同じ結果になりません。自然相手の仕事はそこが大変です。ジベリン処理のタイミングや、区画ごとに残す房数など、経験を頼りにやっています。

今後の目標を教えてください。

産地として、出荷量、販売金額を維持していかねばならないと考えています。

出雲市アグリビジネススクールの「ぶどうチャレンジ講座」などで、毎年新規就農者も獲得していますが、高齢化も進んでおり、やめる生産者も多く、出荷量が減少しているのが現状です。近年単価が上がっており、儲かる仕事になってきていると思いますので、これをチャンスに就農する人が増えることを期待しています。昨年は税込みキロ単価1300円の目標も達成しました。また、栽培面積を増やすのはすくには難しいですが、反収(10アールあたりの収穫量)を上げることは生産者の意識を高めていけばできることだと考えています。

全国には島根のデラウェアを待っているファンの方も多くいらっしゃいます。その皆さんの期待に応えるためにも、少しでも多くの量を出荷できるように生産者一同頑張ります。

最後にデラウェアのPRをお願いします。

デラウェアは種無しでとても甘く、子どもからお年寄りの方まで、食べやすいぶどうです。今年もおいしいデラウェアができていますので、ぜひご賞味ください！



ぶどうの栄養

ぶどうには、鉄分、カリウム、カルシウムなどのミネラル、ビタミン類、食物繊維などが含まれています。また、ぶどうの有名な栄養であるアントシアニンやレスベラトロールなどのポリフェノール物質も豊富に含まれています。アントシアニンははじめとするポリフェノール類には抗酸化作用があり、体内の活性酸素を抑制する効果があります。この働きにより細胞の老化が防がれると言われています。また、アントシアニンには眼球内の光を感じて、脳に伝える網膜内のロドプシンという物質の再合成を促進し、眼精疲労の予防や改善などの効果も期待できます。ポリフェノール類は果皮に多く含まれているため、皮ごと搾汁するぶどうジュースやワインもおすすめです。

果実には多くのぶどう糖や果糖が含まれています。ぶどうの糖質は体内に吸収されやすく、短時間でエネルギーに変わるので疲労・体力回復に効果的であり、優れた栄養補給食品となります。これから夏本番を迎えますが、暑い夏の栄養補給には島根ぶどう・デラウェアをおすすめします。

デラウェアの栽培

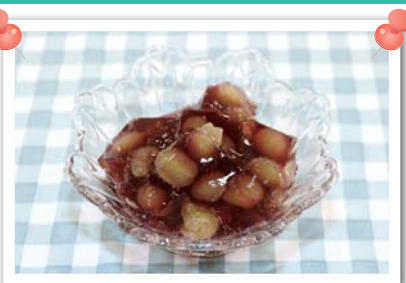
島根県内で生産される島根ぶどう(デラウェア)の多くはJAしまね出雲地区本部管内で生産されています。管内でのデラウェア栽培は、出雲・大社地区を中心に、湖陵、多伎、平田地区でも栽培されています。

デラウェアの栽培は、11月頃から剪定を行い、その後早期出荷などの出荷時期に合わせてハウスの加温を始めます。またデラウェアは種無しぶどうにするために、ジベレリン処理を行います。この処理はぶどうの房一つ一つに対して約20日間の間隔をあけて2回実施されます。すべて手作業で行われるため、おいしい種無しぶどうになるまでにはとても時間がかかります。

今年度のデラウェアの出荷は4月18日から始まり、糖度が高くおいしいデラウェアが全国に出荷されています。

デラウェアの美味しいレシピ

ぶどうのクラッシュゼリー



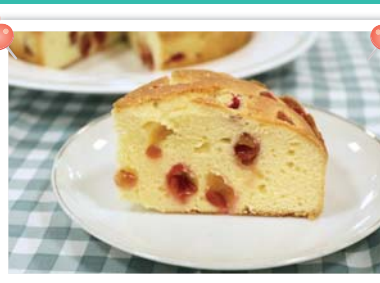
〈材料〉[3人分]

- デラウェア・・・1房
- 砂糖・・・・・・・・・・20g
- 水+果汁・・・100cc
- 100%ぶどうジュース・・・150cc
- 粉ゼラチン・・・5g

〈作り方〉

- ①デラウェアの皮を剥き、ボウルの上に乗せたザルの中へ。ボウルに溜まった果汁は水と合わせ100ccにする。
- ②鍋に①の果汁水を入れ、周りがふつふつするまで熱する。
- ③火を止めて粉ゼラチンと砂糖を入れ、溶けるまで良く混ぜる。
- ④③にぶどうジュースと果肉を入れて混ぜ、バットなどに流し入れよく冷やす。
- ⑤固まったらフォークやスプーンなどで崩しながら盛り付けて完成!

デラウェアのパウンドケーキ



〈材料〉[18cm丸型]

- デラウェア・・・1房
- 卵・・・・・・・・・・2個
- バター・・・・・・100g
- 牛乳・・・・・・・・・・20g
- 砂糖・・・・・・150g
- 小麦粉・・・・・・200g

〈作り方〉

- 《下準備》
- ・材料は常温に戻す。
 - ・オーブンを180°Cに予熱する。
 - ・型に型紙をしておく。
 - ・デラウェアは房から外し水洗いしておく。
- ①バターを泡だて器で柔らかくし、砂糖を3回に分けて加え、白っぽくなるまですり混ぜる。
 - ②①に溶き卵を少しずつ加え、よく混ぜ合わせる。
 - ③②に牛乳を入れてよく混ぜる。
 - ④③に小麦粉を2回に分けて振るいながら加え、ゴムベラでさっくりと混ぜ合わせる。
 - ⑤デラウェアのうち2/3を④に入れ潰さないように混ぜる。
 - ⑥型に流し入れて表面を平らにし、残りのデラウェアを埋め込むように生地に置いていく。
 - ⑦180°Cのオーブンで約30分焼く(串で刺して生焼けのようなら更に焼く)。
 - ⑧型から外して冷めたら完成!

ほっとで楽しいニュースが満載!

JAしまね出雲女性部 通常総会開催

JAしまね出雲女性部は5月14日、出雲市今市町の同JA出雲地区本部で第3回通常総会を開きました。部員・関係者ら約130人が出席。平成29年度の活動報告、平成30年度の活動計画など4議案を協議・承認しました。

昨年度重点的に取り組んだ正組合員加入促進運動では、3月末までに367人が正組合員となった結果、加入率25%の目標を達成し、女性部員の正組合員数は1,262人となりました。この運動は、女性部員のJA運営への参加・参画を促進するため今後も続けていきます。

今年度は3カ年計画の実践最終年度として、引き続き仲間づくりに取り組むとともに、5つの地区体制のもと、食・農を機軸とした活動、組合員・地域住民の暮らしを守る活動を積極的に展開することを申し合わせました。また、JA自己改革の後押しをするため、女性部員の学習をすすめ、JA運営への参加・参画を促進していきます。総会後にもJAしまね本店職員が自己改革について講演しました。

同女性部の高野智子部長は「共に達成感を味わえる仲間を作ることが、家族や地域、農業を守ることにつながると思います」と仲間づくりで女性部員数の維持・増加に努めることの重要性を話しました。



あいさつをする高野部長

こどもクラブ開校 JAしまね出雲地区本部中部ブロック

JAしまね出雲地区本部中部ブロックは5月13日、おおつか保育園（四絡会場）とJAしまね塩冶支店（塩冶会場）の2会場で「中部ブロックこどもクラブ」の入学式を行いました。

同クラブは小学1年生から6年生までの児童を対象に、自然、命、食べ物、農業の大切さを子どもたちに学んでもらう目的で、米作りを中心に平成22年から活動しています。今年度は四絡会場51人、塩冶会場47人の計98人が入学しました。

四絡会場では、福島隆校長（JA出雲地区本部理事）が冒頭のあいさつで「仲良く協力して作業をしましょう。そして田んぼの様子を良く観察してください」と児童に呼びかけました。当日は雨天のため、予定していた田植えは中止となりましたが、同地区本部中部営農センターの職員が座学で稲ができるまでの過程を丁寧に説明しました。

児童は12月の修学式まで田んぼの生き物調査や稲刈りなどを通して主食の米について学ぶほか、野菜の栽培や、親子での料理教室なども予定しています。



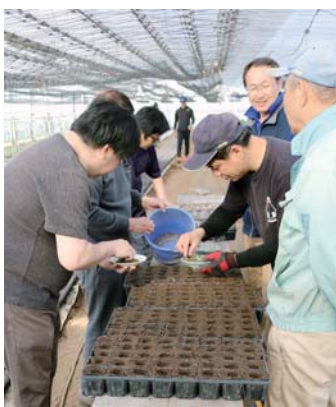
稲の一生と題し説明する中部営農センター職員

大津の町を花で飾ろう 「えがお畑おおつパートⅡ」実行委員会

大津地区の「えがお畑おおつパートⅡ」実行委員会が、同地区の休耕田を花畑にする活動に取り組んでいます。5月19日には大津町の鐘推園芸で、会員に配布するコスモス苗を作りました。同会の役員とJAしまね大津支店の職員、合わせて15人が参加。ポット5,000個にコスモスの種をまきました。

同会は今年活動をスタート。高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加する中、地域の環境を守ろうと出雲市農政会議大津支部が発案しました。「水と緑の大津」を目指して住民が協力して地域の環境を守ることを目的としています。同地区の休耕田に、春はレンゲ、夏はコスモスの種をまき花畑にする計画です。同会は、同地区の住民や各種団体から会員を募り、1口3,000円の会費で運営しています。会員には、1口あたり40鉢のコスモス苗を配布。各自が自宅などに植えたり、近所に配ったりすることで、大津の町を花で飾る考えです。地元の幼稚園や保育園なども会員で、苗を配るほか、休耕田への種まきや採種にも協力を依頼する予定にしています。

同実行委員会の杉原治会長は「農地が荒れるとゴミの不法投棄などが増えてくるが、花畑になればゴミも捨てにくい。きれいな町にしたい」と意気込みを話しました。



ポットに種をまく参加者

JALしまね出雲しいたけ部会 定期総会開催

JALしまね出雲しいたけ部会は5月29日、JALしまね出雲地区本部で第19回定期総会を開催しました。部会員、行政関係者、市場関係者、JA役職員ら約60人が出席。平成29年度の事業報告、平成30年度の事業計画など4議案を承認しました。

平成29年度は県版の農業生産工程管理（GAP）制度「美味（おい）しまね認証」取得への取り組みを強化。今年3月に部会員全員で取得し、県内で最大人数の認証取得団体となりました。販売金額でも過去最高の3億7,600万円（前年比105.2%）を計上しました。

同部会の三島茂部会長は「認証取得は部会員全員の理解、協力の賜物。パッケージの変更なども行い、消費宣伝、販売促進に取り組んでいきます」と意気込みを話しました。

部会員数も増加傾向にあり、県の「きのこの里づくり事業」と「3F事業」を活用し、2団体を含む3生産者が新規で栽培を始める予定です。今年度は「神々の国出雲しいたけ」（平成27年商標登録）のブランド力向上と、認証取得で「安全・安心」をPRし、販売金額4億円を目指します。



あいさつをする三島部会長

遙堪小学校5年生 田植えに挑戦

出雲市立遙堪小学校は5月29日、大社町遙堪地区で田植を体験しました。地元の鍵ヶ崎営農組合の協力を得て実施されたもので、5年生17人が田んぼに入り、手で苗を植えていきました。児童は「手で植えるやり方を学ぶことが出来てよかった」と感想を話しました。

総合的な学習の一環で行ったもので、5月2日には田植え機での田植を学び、5月21日には遙堪幼稚園の園児と泥遊びもしました。今後は生育を観察し、秋には稲刈りを予定しています。その後も稲わらを使ってのしめ縄作りや、おにぎりを作って農業体験でお世話になった人たちと交流するお米パーティーを企画しています。

同営農組合の足立勝司組合長は「農業が楽しいものだということを子どもたちに知ってもらいたい」と話しました。



田植えをする児童

市長にデラウェア贈呈 JALしまね出雲ぶどう部会がPR

JALしまね出雲ぶどう部会は5月25日、出雲市役所を訪れ、長岡秀人出雲市長らに島根ぶどうの主力品種「デラウェア」を贈呈しました。贈呈式では、園山榮部会長、吾郷均副部会長、石橋貢副部会長らが、平成30年産の出荷状況や、優良系統デラウェアへの改植が進んでいることなどを報告しました。

同部会は平成29年産で、目標としていたデラウェアの税込キロ単価1,300円を達成。今年産は税別1,300円を目指しています。長岡市長は「ぶどう農家が儲かるということを皆さんが感じれば生産者も増える。しっかりPRし、憧れの存在になってもらいたい」と激励しました。



長岡市長らにぶどうを贈呈

神話の郷 ぶどう直売所オープン

JALしまね出雲地区本部管内のブドウ生産者らが運営する「神話の郷ぶどう直売所」が、今年も5月20日に大社町北荒木のファミリーマート横でオープンしました。デラウェアのほか、7月頃からは巨峰、ピオーネ、シャインマスカットも販売。メロンやプラムなども取扱います。

販売にあたっては、安全・安心・高品質を重視し、品質管理を徹底しています。「デラウェア」は全房点検し個別包装。高級感があり、贈答用として人気があります。また、以前購入した顧客へダイレクトメールを発送するなど販売促進にも力を入れています。直売所の三成卓夫代表は「今年もぶどうの品質は良好で、皆さんから好評を得ている」と手応えを話しました。

8月19日まで毎日午前10時～午後5時まで営業。直送も受付け、ファックスでも注文が可能です。問い合わせは神話の郷ぶどう直売所、(電)0853(53)5680(ファックス兼用)まで。



生産者ら7人で運営

小学生と幼稚園児が田植えを体験 ふるさとの良さを伝える

朝山小学校の5年生21人と朝山幼稚園の園児19人が5月10日、出雲市所原町で田植えを体験しました。食農教育やふるさと教育を目的に朝山コミュニティセンターが企画し、地元住民やJAの協力を得て毎年開催しています。

当日はJAしまね出雲地区本部南部営農センターの職員から植え方の説明を受けた後、小学生の児童らが園児をサポートしながら田植えをしました。園児は田んぼでの泥遊びも体験し、全身泥だらけになりながら感触を楽しみました。

同小学校では総合学習の一環で米作りに取り組んでおり、収穫した米は児童、園児らで食べるほか、子どもたちが話し合い、今後どのように活用するかを決める予定です。これまでは地元農家とも協力し、東日本や熊本の被災地に毎年支援米を贈っています。



田植えでは小学生の児童が園児をサポート

交通安全教室開催 事故の恐ろしさを再認識

JAしまね出雲地区本部とJA共済連島根県本部と出雲警察署は5月25日、出雲市立第二中学校で自転車交通安全教室を開きました。生徒約440人が、スタントマンによる自転車事故の実演などを通して事故の衝撃や恐ろしさを学びました。

教室では警察官が自転車事故の実例を紹介。通学で自転車を利用する生徒に、自転車も重大事故の加害者になり得ることを伝え、注意を呼びかけました。スタントマンによる自転車事故の実演では、実際に死亡事故につながった事例を再現。どうすれば事故が起きなかったかを生徒に問い掛けながら、自転車の安全な乗り方や正しい交通ルールを伝えました。

この教室は平成21年度に始まり、同校で34校目。同地区本部では、このほかにもカーブミラーや夜光反射材の贈呈、「交通安全ポスターコンクール」、「アンパンマン交通安全キャラバン」など、交通安全への意識を高めてもらう活動に取り組んでいます。



スタントマンによる交通事故場面の再現

唐川新茶まつり開催 大勢の来場者で賑わう

唐川親交会と唐川新茶まつり実行委員会は5月27日、出雲市唐川町の「お茶の郷唐川館」周辺で第27回唐川新茶まつりを開きました。煎茶、番茶、加工品や農産物などを販売し、茶そば、茶餅、新茶まんじゅうなどの看板メニューには長蛇の列ができました。今年も好天に恵まれ、約2,500人が来場しました。

総合学習で茶摘みや製茶などを体験・学習してきた出雲市立鱈淵小学校3、4年生の児童は、「わにっ子茶屋」を開店。学習の成果をクイズなどもまじえながら発表したほか、手もみの煎茶を来場者に無料サービスしました。他の学年も各店舗の手伝いなどで参加しました。

まつりは地元住民のほか、ボランティア団体「NICE」の協力も得て運営しています。

荒木眞信実行委員長は「地区内外の大勢の方に楽しませていただいています。後継者不足で若い人も減っていますが、工夫して継続していきたい」と話しました。



お茶を配って歩く鱈淵小学校の児童

ぶどう女性大学校開催 女性目線で意思統一

JAしまね出雲ぶどう部会女性部は5月11日、大社文化プレイスうらら館で第1回ぶどう女性大学校を開きました。ぶどうの収穫期を迎え、女性の視点で出荷への意思統一をしようと毎年開催しています。ぶどうを生産する女性同士の交流の場でもあり、モチベーションの向上にもつながっています。

当日は部員約130人が参加し、市場からの情勢報告や選果選別の講習を受けました。同女性部の藤江美由紀部長は「どの市場からも、『売り場確保のために、約束した時に約束した量を』と要望を受けています。目標達成に向けて頑張りましょう」と呼びかけました。同部会では「反収1,300キロ」「税別キロ単価1,300円」「赤秀比率90%」「毎日くだもの200グラムで健康生活」をスローガンに掲げています。

記念講演では、約40年前、ぶどう女性部・女性大学校の立ち上げに尽力した元JAいずも代表理事専務の内田正二さんが当時の様子などを話しました。



ぶどう生産に従事する女性が一堂に会した

ラピタがレジ袋収益金を市環境保全連合会へ寄附

ラピタは5月14日、出雲市環境保全連合会へ有料レジ袋販売による収益金の一部を贈呈しました。出雲市役所で開かれた出雲市環境保全連合会総会で、市内の9事業所から計約63万6千円を寄附。ラピタからは店舗管理課の影山卓也課長が出席し、同連合会の和泉一郎会長に目録を手渡しました。

出雲市ではマイバッグ持参運動を展開する中で、事業者・出雲市環境保全連合会・市の3者間で「レジ袋削減に向けた取組に関する協定」を締結し、レジ袋の削減に取り組んでいます。ラピタも同協定を締結し、平成21年7月からレジ袋削減のためレジ袋を1枚3円の有料制にしました。収益金は同連合会への寄附のほか、環境保全活動に取り組むJA女性部グループへの表彰などに活用しています。平成29年度のラピタのマイバッグ・マイバスケ持参率は約89%となっています。



和泉会長(左)に目録を贈る影山課長

養鶏部会総会開催 福祉会に卵を贈呈

JAしまね出雲養鶏部会は5月11日、ラピタで総会を開きました。平成30年度も引き続き安全・安心な鶏卵生産に努め、飼料用米を利用した鶏卵「こめたまご」の更なる販売拡大に努めることなどを申し合わせました。また、地鶏「出雲コーチン」を飼育する法人が新たに加入し、部会としてブランド化に向けた地鶏の作出支援を行います。

平成29年度も防疫対策を徹底し、管内では鳥インフルエンザ等の被害は見られませんでした。「こめたまご」の普及・販促活動にも積極的に取り組み「ラピタのこめたまご」は約21万9,000パックの販売実績を上げました。

恒例の社会福祉施設への卵の贈呈式も行い、福田賢治会長が、JAいずも福祉会みどりの郷平田の野津直美施設長へ卵を手渡しました。みどりの郷4施設に10キロずつ贈呈。野津施設長は「卵はいろいろな料理に使える食材。各施設で活用し、利用者の健康維持に努めます」と感謝の言葉を述べました。



野津施設長(左)に卵を贈る福田会長

そば打ち甲子園へ向けて練習開始 島根県立出雲農林高校

島根県立出雲農林高校の生徒が、8月20日に東京都で行われる、「第8回全国高校生そば打ち選手権大会」に向けて練習を開始しました。伝統の食文化「出雲そば」を学ぶとともに「そばどころ出雲」を全国にPRしようと、食品科学科の2年生6人(競技者4人、補助者2人)が団体戦に挑みます。

5月18日にはJAしまね出雲地区本部総合指導課の矢田満課長、阿式秀典係長が指導にあたり、初めて大会と同条件で練習しました。今後は夏休みも含めて練習を重ね、8月8日には出雲市役所で市長を前に練習の成果を披露する予定です。キャプテンの八幡寿梨さんは「出雲そばと出雲農林高校をPRするために、味も香りもしっかりしたおいしいそばを打ちたい」と決意を話しました。

「そば打ち甲子園」とも呼ばれる同大会は、食文化の継承と手打ちそばの発展・普及を目指し平成23年から開かれています。同校は平成27年から出場。今年出場する6人は2年間を通して研究課題の一環で取り組み、来年の大会にも出場する予定です。



JA職員がそば打ちを指導

北陽小学校でサツマイモの苗植え 地元農家、JAが協力

出雲市立北陽小学校の1年生が5月16日、学校の畑でサツマイモの苗植えを行いました。地元農家の佐野祐治さんとJAしまね出雲地区本部中部営農センターの職員が指導し、「べにはるか」の苗を1人2本ずつ、丁寧に植えつけました。参加した児童は「土を掘るのが気持ちよかった」などと感想を話しました。

佐野さんは平成17年から同小学校で栽培を指導しています。他の学年でも協力し、22日には2年生にオクラやトマトなどの野菜の栽培を指導、25日に5年生が行ったバケツ稲づくりでも準備などで協力しました。



苗の植え方を指導する佐野さん



5月
講座

「家庭菜園・害虫対策」

いずもJA
シニア女子大学
～みずき～



▲攪拌用の機械をレンタルし、効率よく製造



▲ビニールシートで混ぜる手作業のやり方にも取り組みました

JAしまね出雲女性部は5月23日、中部営農センター横のみそ加工場前で、JAシニア女子大学の5月講座「家庭菜園・害虫対策」を開催しました。女子大学生25人が参加。2班に分かれ、米のとぎ汁を使ったEM（有用微生物群）発酵液の作り方や活用方法を学んだほか、皆で協力して「ぼかし肥料」作りにも取り組みました。

発酵液の作り方、活用方法は「環境を考える女性の会」会長も務める中部ブロックの錦織文子地区長が説明。自身の経験をもとにさまざまな活用事例を紹介しました。

肥料作りでは、女子大学生たちが団結力と手際の良さを遺憾なく発揮し、2時間半の講義で約470キロを作り上げました。「ぼかし肥料」は、有機質を混ぜて微生物で発酵させたものです。当日は米ぬか、油かす、魚粉、カニガラ、炭、セラミックス、EM活性液を使用しました。作った肥料は各々が持ち帰り、家庭菜園の土作りに役立てます。

参加した女子大学生は「発酵液は今まで野菜づくりに活用していましたが、ほかにもいろいろな用途を教えてくださいました。興味深かったです」と話しました。



▲錦織地区長が発酵液の活用方法を詳しく説明

料理教室から託児まで
幅広く活躍!!

JAしまね出雲地区本部 生活文化協力員

JAしまね出雲地区本部では、組合員の皆さんの生活文化活動をサポートするとともに、JA組織活動の活性化を図ることを目的に、生活文化協力員を管内の各ブロックに配置しています。

生活文化協力員は、定期的開催する会議・研修会に参加し、JA生活指導員と連携をとりながら、各地区で行う料理教室や加工品作りなどの講師としてJA女性部のグループ活動に参加しています。また、農業まつりやJA女子大学、健康診断等にも積極的に協力するなど幅広い分野で活動しています。

5月29日には、平成30年度生活文化協力員の委嘱状交付式をふれあいの家出雲「緑」で行い、各ブロックから14人を選任しました。平成29年度には361件の活動をしており、今後も生活文化活動がより充実したものとなるよう活動していきます。



平成30年度
JAしまね出雲地区本部 生活文化協力員
(敬称略)

主活動ブロック	氏名
中部ブロック	園山 紀子
	矢田 絹子
	長谷川 博美
東部ブロック	湯浅 万里子
	山形 由紀
	山崎 智子
西部ブロック	園山 幸美
	角森 希美
	横田 紀子
河南ブロック	森山 都代子
	石飛 通子
	高山 恭子
南部ブロック	飯塚 恵理
	横山 良子

組合員大会へ行こう!

JAしまね出雲地区本部では、7月2日より8月1日までの期間、管内33ヶ所にて組合員大会を開催いたします。この組合員大会では、役職員が各地域へ出かけ、JA事業の説明をするとともに、組合員の皆様からの意見を聞き、事業運営に活かすことを大きな目的としています。

**あなたの思いがJAで実現するかもしれません。
JAをもっと身近なものとして利用するために、あなたも行ってみませんか?**

- 上津地区 7/ 2(月) 上津コミュニティセンター
- 高浜地区 7/ 5(木) 高浜コミュニティセンター
- 川跡地区 7/10(火) 川跡コミュニティセンター
- 塩冶地区 7/17(火) 塩冶コミュニティセンター
- 鷲巣地区 7/19(木) 鷲巣コミュニティセンター
- 四絡地区 7/25(水) 四絡コミュニティセンター
- 大津地区 7/26(木) 大津コミュニティセンター

中部
ブロック

時間：全会場
午後7時～

あなたの声を
聞かせて下さい

- 西田地区 7/ 2(月) 西田コミュニティセンター
- 桧山地区 7/ 5(木) JAしまね桧山店2階会議室
- 伊野地区 7/ 9(月) 伊野コミュニティセンター
- 灘分地区 7/11(水) JAしまね灘分支店会議室
- 佐香地区 7/13(金) 佐香コミュニティセンター
- 東地区 7/17(火) 東コミュニティセンター
- 鰐淵地区 7/18(水) 鰐淵コミュニティセンター
- 北浜地区 7/23(月) 北浜コミュニティセンター
- 平田・久多美地区 7/25(水) JAしまね平田中央支店大会議室
- 国富地区 7/30(月) 国富コミュニティセンター

東部
ブロック

- 日御碕地区 7/ 3(火) 日御碕コミュニティセンター
- 高松地区 7/ 6(金) 高松コミュニティセンター
- 大社地区 7/ 9(月) JAしまね大社支店会議室
- 鵜鷺地区 7/11(水) 鵜鷺会館
- 長浜地区 7/24(火) 長浜コミュニティセンター
- 遥堪地区 7/27(金) 遥堪コミュニティセンター
- 荒木地区 7/30(月) JAしまね荒木支店2階大会議室

西部
ブロック

事前質問も
お待ちしております

来場者には
粗品プレゼント



- 神門・古志地区 7/10(火) 朱鷺会館
- 湖陵地区 7/19(木) JAしまね湖陵支店大会議室
- 神西地区 7/23(月) 神西コミュニティセンター
- 多伎地区 7/26(木) JAしまね多伎支店2階会議室

河
南
ブ
ロ
ッ
ク

- 朝山地区 7/ 5(木) 朝山コミュニティセンター
- 八幡東・窪田地区 7/12(木) 飯の原農村公園「吉栗の郷」
- 乙立地区 7/19(木) 乙立コミュニティセンター
- 東須佐・西須佐地区 7/24(火) 佐田スポーツセンター「文化練習館」
- 稗原地区 8/ 1(水) 稗原コミュニティセンター

南
部
ブ
ロ
ッ
ク

お問い合わせ先
お近くの支店
または
営農センターまで
お願いします

*天候や気象情報等を考慮して中止・延期する場合もございますので、あらかじめご了承ください。



出雲市大津町
かねつき 金築 かつよし 克嘉さん (76歳)
とよこ 豊子さん (77歳)



大津町にお住まいの金築さんご夫婦。約1.6ヘクタールで水稲栽培を行っています。

克嘉さんは土木関係の仕事をしなが、豊子さんは家のことをしながら、長く農業を営んできました。水稲栽培以外にも麦を作ったり、キャベツを作ったり、10年間ほど乳牛を飼っていた時期もあったというお二人。「農業がとても良い仕事で、いろいろなことをしていました」と当時のことを話します。

克嘉さんは現在も田植え機やコンバインを運転し、自分の家の田んぼだけでなく、他所の作業委託なども受けています。息子さんたちにも手伝ってもらいながら、今でも中心となって農業に従事しています。

毎日夕方ごろには曾孫さんの子守もされているというお二人。成長していく姿を見るのが何よりの楽しみです。また、旅行が趣味で、春先には出雲空港から出雲—静岡線の第1便に乗って静岡旅行に出かけたそうです。「富士山に雪がたくさん残っていて、とてもきれいでした」と、かなり下の方まで白く染まった美しい富士山の写真を見せてくださいました。

結婚して55年になるというお二人。「口喧嘩は時には必要です」と夫婦円満の秘訣を話す、仲の良いご夫婦です。



Smile
きらりスマイル

白枝町にお住まいの内村

桃子さんと内村慎之介さんは、今年4月に行われた朝山八幡宮例大祭の獅子舞奉納で、姉弟で獅子を演じました。薬局にお勤めの桃子さんと、小学校の先生をしている慎之介さん。これまで地域との関わりは少なかったそうですが、11年に一度、町内ごとの持ち回りで行われる獅子舞奉納に「ぜひ参加させてもらいたい」と手を挙げました。長い歴史の中でも、女性が獅子舞をするのは初めてのことだったといいます。

全く経験のない状態から1ヵ月半、地域の皆さんに支えられながら練習を重ねました。お二人は「違う町内からも指導にきていただくなど、いろいろな方にお世話になりました。貴重な経験をさせてもらえたことに感謝しています」と話します。当日は姉弟2人で1頭の獅子を演じ、天狗と3人1組で堂々の舞を披露しました。

今後について「地域の皆さんとのつながりができたことが嬉しいです。これからも行事に参加していきたい」と話す桃子さん。「11年後もぜひまた参加させてもらいたい。地域に貢献できたらと思います」と話す慎之介さん。地域の中でキラリ輝くお二人です！

出雲市白枝町

内村

桃子さん(25歳)
慎之介さん(24歳)



5月講座

「女子大米を作ろう 田植え編」

JAしまね出雲地区本部は5月25日、いずもJA女子大学の5月講座「女子大米を作ろう 田植え編」を開きました。女子大学生14人が参加。おいしい米作りを目指し、福島聡さんが管理する田んぼ17アールに「きぬむすめ」の苗を手植えました。

女子大学生たちは、稲の生育や田植えの作業手順について説明を受けてから田植えを開始。説明を担当したJAしまね出雲地区本部総合指導課の阿式秀典係長は「米の消費量は昔に比べてずいぶん減っている。どんどんご飯を食べてもらいたい」と呼びかけました。

はじめに苗を等間隔に植えるための線を引く「ばば引き」を行い、その線に沿って苗を植えました。田植え

は初めてという女子大学生も多く、手探りの状態からのスタートでしたが、全員が協力して徐々にペースも上がり、時間内に田植えを終えることができました。

参加した女子大学生は「お米はたくさん食べますが、田んぼに触れる機会はあまりなく、貴重な経験ができました。子どもにもぜひこういった体験をしてもらいたいです」と話しました。



わが家の
アイドル
わが家自慢の
アイドルをご紹介します!



もりやま いちか
森山 一葉ちゃん(2歳・右)
ゆいか
結叶ちゃん(5ヶ月・左)

出雲市塩冶町

保育園に通う一葉ちゃん。好きな遊びはお絵かきとお買い物ごっこ。クレヨンがお金の代わりです。お話しが得意で、お父さんやお母さんの言ったことをすぐに真似して、いろいろな言葉を覚えています。妹の結叶ちゃんをとっても可愛がっていて、抱っこして面倒を見ようとしてくれます。お母さんたちからは「まだ無理だよ」と言われていますが、お気に入りのお人形を代わりに抱っこして、一生懸命練習しています。結叶ちゃんは、最近よく寝返りの練習をしています。もうすぐ一人でできそうなくらい上手になりました。音楽が好きで、童謡をうれしそうに聞いています。ご機嫌なときは、おしゃべりをすることもあります。

天気のいい日はいつも、お母さんと一緒におばあちゃんを勤め先まで歩いて迎えにいくという一葉ちゃんと結叶ちゃん。元気いっぱいの仲よし姉妹です。

おとうさん、おかあさんからの一言

二人とも、仲良く元気に大きくなってね。そして小さなことでもいいので夢をもって、それを叶えてくれたらうれしいです。

J A しまね出雲女性部

グループ紹介

湖陵支部「太極拳湖陵教室みずうみ」

代表 桑原 幸子さん

J A しまね出雲女性部湖陵支部の「太極拳湖陵教室みずうみ」は、毎週火曜日にJ A湖陵支店会議室や地区の公民館で太極拳をしています。地域の太極拳入門に参加したメンバーが、皆で体に良い運動をしたいと仲間を募り、約10年前に女性部のグループ活動としてスタートしました。現在17人のメンバーで楽しく活動しています。

支店会議室からは神西湖が良く見え、四季折々の風景に癒されながら、日々の疲れを忘れて運動に励んでいます。太極拳のゆったりとした大きな動きは、心と身体をリラックスさせてくれるほか、足腰が鍛えられ、つまずき防止、老化防止など、いろいろな良い効果が実感できます。

普段の教室のほか、発表の場として農業祭りなどのJ Aの各種イベント、女性

桑原代表の一言

私たち「太極拳湖陵教室みずうみ」は、太極拳で健康維持に努め、メンバー皆、とても若々しく活動しています。これからも皆で練習を重ね、発表の場を通して地区の皆さまと交流の輪を広げていきたいと思えます。また、興味のある方にはぜひご入会いただきたいと思えます。いつでも自由に見学できますので、一度覗いてみてください。



部まつり、地区のイベントなどにも積極的に参加しています。また、毎年行われている中国健康気功体操の大会にも出場し、湖陵みずうみチームとして金賞を受賞したこともあります。

このほかにも出雲市の太極拳の交流会や、島根県健康福祉祭に参加し、太極拳を通して地域の方と交流を深めるなど、幅広く活動しています。

湖陵支店 細田支店長からのメッセージ

「太極拳湖陵教室みずうみ」のみなさんは、毎週、湖陵支店や公民館で積極的に活動していらっしゃいます。昨年の農業祭りでも素晴らしい演技をご披露いただき、祭りを大いに盛り上げていただきました。太極拳は、健康維持にも効果的のことですので、地域のみなさまも是非活動に加わってみたいかがででしょうか?



おたより広場

読者のページ

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」…ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集!!

おたより大募集

皆さまからの「おたより」を募集しております。ハガキに、聞いて欲しいこと、日々思うこと、俳句や川柳、絵手紙や写真などのご投稿お待ちしております。(匿名希望の方は明記してください)

〒693-8585
出雲市今市町106番地1
JAしまね出雲地区本部内
「広報誌JAしまねびより」編集係 宛
✉メールでの投稿も大歓迎!
unity@jaizumo.or.jp

なりました。野菜を作る楽しさや収穫の喜びがたくさんあるといいですね。わが子も保育園でミニトマトを育てています。

(外園町 F・Aさん)

●島根ぶどうが店頭に並び始めました。約40年前、東京のスーパードで島根ぶどうを見つけたときの感動を思い出します。

(大社町 Y・Hさん)

JA:ぶどう農家の方も、島根ぶどうが都会で堂々と並んでいる姿を見るととても励みになると仰っていました。全国に誇れるデラウェアも今が旬です!この時期にたくさん食べたいですね。

●ラピタビアガーデンがオープンしましたね。毎年楽しみにしています。今年もそろそろ行くのかなあと思っています。料理が楽しみです。

(東林木町 Y・Kさん)

JA:気温が高い日が増え、今年もビールのおいしい季節になってきましたね!ラピタビアガーデン、ぜひともお越しくださいませ!

●暖かくなり、園児や小学生が野菜づくりを始める話をよく聞くように

JA:今年も種まきや苗植えなど、各所で取材させていただいていますが、収穫時に皆さんのうれしそうな表情を見るのが今から楽しみです。ミニトマトは見た目にもきれいで楽しそうですね!きっと収穫の時はお子さんもすごく喜ばれると思います。

●塩冶町の赤川土手を犬と散歩していたときに、笑顔と笑い声のすてきな赤いジャンパーの女性にたくさん出会いました。なにげなくゴミを拾い、あいさつを返してくれる姿は、桜の美しさよりもっと美しく感じられました。これからも多くの笑顔と美しい姿を見せてください。

(今市町 M・Sさん)

JA:4月1日に実施された「美化ウォーク」のときでしょうか。市内各地区の女性部員の皆さんがゴミを拾って歩かれました。目的意識を持ち、とても楽しそうに地域貢献をされている姿は本当に美しく、いつも元気をいただいています。

川柳の広場

選者

竹治ちかし先生

◆月間最優秀賞

ふるさとの訛誇りに生きてみる

櫛井伸幸

選者評

若い頃は嫌だと思っていた土地の訛も、年を重ねることにその訛の底にある温かさに気付いた作者である。ふるさとの訛を誇りに生きる作者に拍手。

◆月間優秀賞

忘れてる歳をヨイシヨが気付かせる 多久和敬子

春一番出番待ってる鍬洗う 渡部 一学 いちがく

絵に描けばのどかに見えるシジミ漁 大福利彦

◆あなたの俳句・川柳を募集します

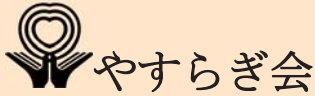
◆応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキまたはFAXでご応募ください。
※7月号掲載分の俳句の応募メ切りは6月29日(金)必着です。※8月号掲載分の川柳の応募メ切りは7月31日(火)必着です。※お一人様それぞれ3句までご応募いただけます。

◆あて先

〒693-8585 出雲市今市町106-1
JAしまね出雲地区本部俳句の広場係又は川柳の広場係
(FAX:21-6249)
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。※応募作品の一切の権利は、JAしまね出雲地区本部に帰属するものとします。※月間最優秀賞にはUFJニコス券3,000円分、月間優秀賞にはUFJニコス券1,000円分を進呈いたします。※受賞作品については氏名(または雅号)を掲載します。

平成30年度 JA高齢者対策リーダ養成研修会 参加者募集について



JAしまね出雲地区本部では、JA高齢者福祉活動に対する知識・技術の習得、地域における助け合い活動の核となる「やすらぎ会」会員の養成を目的に、独自の研修会を開催しています。誰もが住みなれた地域の中で安心して暮らせるよう、助け合い活動を一緒にすすめていただける方を募集します。

受講対象者

【新規会員】

以下の①～③を全て満たす方

①JAしまね出雲地区本部組合員

もしくは同一世帯家族

②全日程参加できる方

③JA高齢者福祉活動(やすらぎ会活動)の目的に賛同いただける方で、活動に積極的に参加していただける方

【現会員】

どなたでも参加できます

研修日程 平成30年
7月24日(火) 13:00～16:30
7月31日(火) 13:00～16:30
8月 7日(火) 13:00～17:00

受講料 3,000円
(※但し、現会員が受講する場合は免除とします)

申込手続き JAしまね出雲地区本部各支店まで
事前にお申込みください
※**申込み締切り 7月3日(火)**

会場 JAしまね出雲地区本部4階 401会議室

お問い合わせ先 やすらぎ会事務局(JAしまね出雲地区本部 ふれあい福祉課内) TEL 21-6013

健康ライフかわら版

「6月は『食育月間』です！」

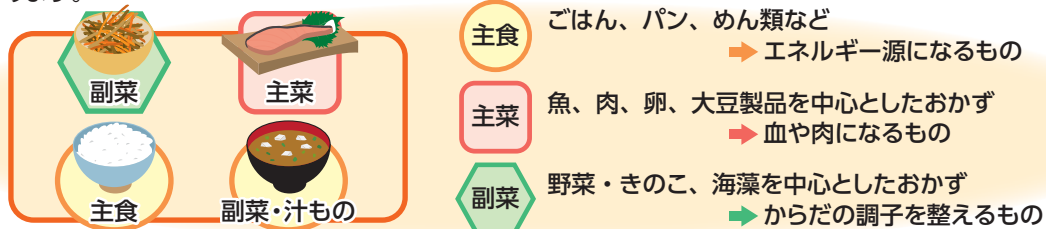
食育とは「食べる知恵」を身に付け、その知恵を食生活に取り入れること。「食育月間」は、家庭、学校、地域、職場など社会全体で食育の推進に取り組んでいただくために設けられた、「食育」の強化月間です。

この機会に、できるところから実践してみませんか？

★食事はバランスよく。主食・主菜・副菜をそろえましょう

1回の食事に主食・主菜・副菜をそろえると、1日の栄養バランスが整ってきます。(下図参照)

これ以外に、牛乳・乳製品、果物などを加えれば、栄養バランスの面でも、味や彩り、楽しさの面でもより充実した食事になります。



★朝食で、いきいきした一日を始めましょう。

私たちは、寝ている間にもエネルギーを使っているため、朝はエネルギーが空っぽな状態です。朝は1日の出発点。朝ごはんは、エネルギーを補給する大切な食事です。食べることで体温を上げ、活動モードにスイッチを入れましょう。

お問合せ先 出雲保健所健康増進課 TEL 21-8785



特定健診を受診しましょう!

◆特定健診(特定健康診査)とは?

腹囲測定・血液検査・血圧測定を行い、メタボリックシンドロームのリスクを減らすための検査で、**40歳～74歳の方は一年に一度必ず受診していただく必要があります。**JAしまね出雲地区本部の組合員健康診断「基本+詳細」の検査項目や、巡回人間ドックもこの検査に当てはまります。

◆対象となる方は特定健診の受診券が配布されます

ご加入の健康保険によって配布方法や時期が異なります。

ご加入の健康保険	対象者	配布時期	配布方法
出雲市国保	40～74歳	6月下旬	黄色の封筒で郵送
協会けんぽ	40～74歳の被扶養者	4月	黄色の封筒で被保険者住所に郵送
その他の健康保険組合	40～74歳の被扶養者	4月、もしくは事業所に申請する	被保険者住所に郵送、もしくは事業所より配布

出雲市国保の受診券(A4サイズ・白色)

協会けんぽの受診券(三つ折りはがきサイズ・青色)

◆特定健診の受診料

保険証と特定健診受診券を健診の会場にお持ちいただくと、料金が約5,000円減額されます。

金額はご加入の健康保険によって異なりますが、組合員健診の「基本+詳細」の場合は1,850円、巡回人間ドックの場合は15,000円程度で受診していただく方がほとんどです。

※受診券をなくされた場合は再発行の必要がありますので、大切に保管してください。

お問い合わせ

受診券の配布について

ご加入の健康保険、もしくはお勤めの事業所

JAしまね出雲地区本部の健康診断について

JAしまね出雲地区本部ふれあい福祉課 (21-6013)



出雲市農政会議だより

平成30年6月16日

No.77

発行元：出雲市農政会議(出雲市今市町106番地1 JALまね出雲地区本部 営農企画課内)
発行責任者：事務局長 原田 透

【活動内容報告】

○第14回通常総会開催

5月28日(月)ラピタ本店『寿輝の間』において第14回出雲市農政会議通常総会を開催しました。安達会長は開会にあたり以下の内容を挨拶されました。

1. 2月の雪害をはじめ自然災害が多発している。被災者の方へお見舞い申し上げます。
2. 昨年の衆議院議員選挙では地域の代表として細田博之衆議院議員、竹下亘衆議院議員が見事当選されたほか、大田市出身の三浦靖氏も見事に当選された。今後の活躍に期待したい。
3. 新たな米政策がスタートした。今後の状況を注視して行きたい。
4. JAの自己改革について積極的に応援したい。また、規制改革推進会議主導による農協改革に対応する形で、竹下亘衆議院議員を会長とした新たな議連「地域の農林水産業振興促進議員連盟」が設立された。その活動を注目したい。
5. 来年は春に統一地方選挙、夏に参議院選挙があり、我々の要望に応えられる人物を応援したい。

総会には、長岡秀人出雲市長をはじめ推薦県議会議員や出雲市農政議員連盟、JA関係者等多数の来賓に駆けつけて頂き、農政会議代議員等総勢161名の参加があり、4つの議案について審議され承認されました。



出雲地区本部理事会報告

5月22日に開催された出雲地区本部理事会の中で協議された主な議題と内容は次の通りです。

〈協議事項〉

- (1) 大口貸出金の承認について
- (2) 大口貸出先条件変更の承認について
- (3) 平成29年度事業の概況・事業活動について
- (4) 平成29年度決算概況について
- (5) 平成30年度事業方針について
- (6) 平成30年度事業取扱計画及び総合収支計画について
- (7) 次期中期3ヵ年計画に向けたプロジェクト設置について

現状の課題、現在の取組み状況の洗い出しを行ったうえで、今後の取組み事項を整理し、将来に向けた事業の在り方等を検討します。

〈報告事項〉

- (1) 運営体制改革の報告について
- (2) 平成29年度資産査定結果について
- (3) 不稼動資産について
- (4) 「ふれあい号」の平成29年度利用状況について
5月より鱈淵コースを増便しました。
- (5) 平成30年度組合員大会について
7月2日から8月1日の間に33会場で行います。



木良深ネギ

の植え付けと その後の管理の要点

板木技術士事務所 ● 板木利隆

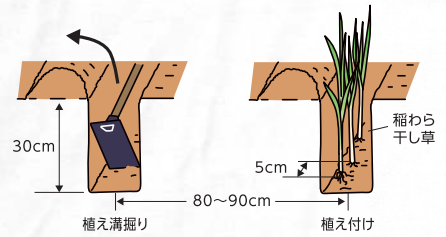
春3月に種まきした根深ネギ（白ネギ）の植え付けは、苗の太さが1cm内外に育った7月中～8月上旬が適期です。

大きく育った苗は、この頃にネギアザミウマやアブラムシなどの害虫やさび病、べと病などが発生しやすいので、苗床では殺虫剤や殺菌剤を散布して防除しておきます。ネギの葉は薬剤が付きにくいので、展着剤を加えることが大切です。

苗床から抜き取るには、根元にくわを打ち込み、根をたくさん付けるよう配慮して行います。

抜き取った苗は、大、中、小ぐらいに分けて植え付けます。こうすると畑で土寄せ、追肥をするときに、大きさ別に区別して行うことができ都合です。

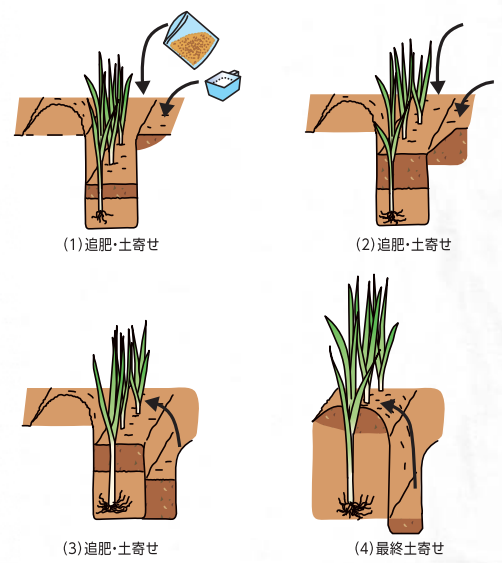
植え付けに当たっては、まずきちんとした植え溝を作ることが大切です。列の間隔を80～90cm取り、くわ幅の30cmぐらいの深さの溝をきちんと作りましょう。



溝が崩れないよう上手に作るには、前作が終わったら前作の残さや草などを片付け、耕やさないで表面を硬くしておくことです。

大きさをそろえた苗は、階級ごとに3～4cm間隔に、壁面に立て掛けるようにして垂直に植え付けます。植えた後、根元に2cmぐらい土を掛け、苗が倒れないよう根元を足で踏み付けておきます。その後すぐに溝いっぱい稲わら、干し草などを入れ、倒れないよう、また夏の乾燥、防暑を図ります。植え付け時には肥料はまったく与えず、もっぱら新根の発生を促します。

次は、追肥と土寄せ管理です。



夏の暑さが遠のき始めるとネギは生育を始め新葉が増えてきます。この頃溝の肩の部分に肥料(化成肥料・有機配合など)を施し、くわで軽く土と混ぜ合わせて溝の中に落とし込みます。

9月下旬ころからは盛んに生長しますので、15～20日置きに第2回、第3回と追肥、土寄せを行います。全体的には追肥の重点は前半期に、土寄せは後半にし、長い軟白部ができるようにします。

台風・強雨に見舞われたら、早めに畑を見回り、植え溝内の排水を図ります。ネギの根は乾燥には強いのですが、湿害には大変弱いので、対策は急を要します。風による倒れは曲がりの原因になりますので、できるだけ早めに起こすことが大切です。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

JALしあね / キャンペーン期間 2018. 6.8金 - 8.31金

定期貯金のお預入れ金額に応じてプレゼント!

定期貯金（期間1年以上）
 上乗せ金利の適用があるものを除きます。
 窓口でお預入れいただいたものに限りです。

さらに 下記のお取引がある方には
保冷トートバッグ
 も **プレゼント!**

給与	給与振込口座のご指定
年金振込	年金振込口座のご指定
年金受取	年金受取のご予約
BANK	JAネットバンクのご利用
JACard	JAカードへのご入会

10万円以上50万円未満

フードコンテナセット



HELMi x CHORIS nordic line

特徴的な紋章のモチーフが人気のフィンランド発の北欧ブランド「HELMi nordic line」とのコラボレーション。フタをしたまま電子レンジにも使えて、冷蔵庫にも収納しやすいフードコンテナセットです。

オトクな2個セットです

50万円以上

快適キッチンセット



キッチンで大活躍! キッチンペーパー、アルミホイル、ラップの3点セットです。

オトクな3点セットです

MILESTO x CHORIS



“毎日を旅するように暮らす”をコンセプトに機能性と普遍的なデザインを大人に向けて発信するトラベルブランド「MILESTO」とのコラボレーション。お買物やアウトドアシーンなどで幅広く使える保冷機能付きのトートバッグです。

大きめサイズの保冷バッグです

この機会にJAの便利なサービスを利用してみませんか? まだ上記のサービスをご利用されていない方も、**キャンペーン期間中のご利用開始で、保冷トートバッグプレゼント!**

※写真はイメージです。※品切れの場合は他の粗品に代えさせていただきます。

JABankは、どなたでもご利用いただけます。くわしくはお近くのJA窓口までお問い合わせください。

FDA 直行チャーター便で行く!!

出雲縁結び空港発着

～地元空港より楽々!チャーター便で北海道の「てっぺん」へ～

山陰より約2時間30分で最果ての稚内へ!

利尻島・礼文島・稚内・宗谷岬

うれしい週末利用!! 2泊とも2名様より1部屋ご利用

旅行実施日 平成30年

8月25日^土～27日^月

旅行代金 (大人お1人様、2名様1室利用、出雲縁結び空港発着) (税込)

149,800円

※1人部屋利用ご希望の場合、20,000円増し。(2泊分)
 ※旅行代金とは別に、燃油サーチャージ往復600円が必要となります。

萩・石見空港発着

3泊とも2名様より1部屋ご利用 協賛・萩・石見空港利用拡大促進協議会

花咲く利尻・礼文・稚内 周遊 4日間

旅行実施日 平成30年

7月18日^水～21日^土

選べる2コース

A ゆったり周遊観光 コース

旅行代金 (大人お1人様、2名様1室利用、萩・石見空港発着) (税込)

169,800円

宗谷岬 イメージ

B 利尻岳登山と観光 コース

旅行代金 (大人お1人様、2名様1室利用、萩・石見空港発着) (税込)

179,800円

利尻富士登山 イメージ

日本最北の名峰 洋上に浮かぶ憧れの

総合ポイント対象旅行

おさいふカード

JALしあね 総合ポイントカードのある旅行は、本ポイント付与対象の商品となります。

掲載ツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。
 ※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております!お気軽に最寄りのJA旅行センターへご請求下さい。

TOUR 株式会社 農協観光

農協観光島根支店 ☎0852-26-2600

JALしあね やすぎ旅行センター ☎0854-28-6699

JALしあね 雲南旅行センター ☎0854-42-9118

JALしあね 出雲旅行センター ☎0853-21-3305

JALしあね 斐川旅行センター ☎0853-73-9625

JALしあね 石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501

JALしあね島根おち旅行センター ☎0855-83-0008

JALしあねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820

JALしあね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587



開催期間 **6/23(土) ▶ 7/1(日)**
AM9:30~PM8:00
商品の数には限りがあります。ご了承ください。

**おさいふカード
会員様限定**
セール期間中、当店指定の
商品をお買い上げの方に
おさいふカードポイント
10.5倍 ポイント進呈!!
※指定機種に
限ります

期間中、特別価格で大奉仕!!

夏 得
**サマー
セール**

電化ショー

2018

半期に1度の大特価!! 家電からリフォームまで
まるごとご奉仕!

お問合せ



BEST
世界のなかへ 暮らしのなかへ

ラピタ本店2Fベスト電器 TEL (0853) 21-6058



2018 夏

盆提灯

展示即売会

開催中

おさいふカードに
ポイント加
点いたします!

場所
ラピタ本店3階 イベントプラザ

時間
9:30~18:00

ラピタ御法要会席



初盆を
お迎えの方へ

在りし日の故人を偲び
ご親族やご友人と和やかな法要を...

写真は
和室会場です

ラピタウェディングホールでは、
季節の味覚を盛り込んだお料理で、
故人の在りし日をお偲びいただけるよう、
各種おもてなしのご用意をさせて
いただいております。

送迎
無料



ご利用代金お支払いの際には、
おさいふカードにポイント加
点させていただきます。

写真のイメージは、7,560円(税込)です。
その他ご予算に応じて承ります。
ご法事膳の他に、ハム、かまぼこ、
お茶、和洋菓子、パン、ギフトなどの
ご用命も承ります。

◆ご会席のお部屋は、和室(テーブル・イス)、洋室どちらでもご利用いただけます。
◆ご利用に際しましては、マイクロバスで無料送迎いたします。
◆飲食に対しまして、サービス料10%申し受けします。
◆お土産等に対しましては、サービス料は頂けません。

◆お問合せ・ご予約
〒693-8587 出雲市今市町87番地

ラピタ 3階フロント

TEL0853-21-6063

夏のスタミナ!! うピタのうなぎ

土用丑の日
7/20金
二の丑
8/1水

松江「炭火焼の有名店」

大はかや **老舗**



一九四七年の開業以来、ウナギ一筋にこだわる言わずと知れた老舗。吟味して選んだウナギは肉厚で、強い炭火で短時間で焼くため、脂が十分残ってやわらかい。先代から受け継がれている甘口の秘伝のタレも人気のひとつ。

数量限定
うなぎ蒲焼 1尾
(うなぎのタレ付)
本体価格 3,149円
(税込価格3,400円)



大人気!! 地元老舗うなぎ

出雲「料亭秘伝のタレが決め手」

料亭たわら **老舗**



出雲の老舗料亭「たわら」。ふっくらした肉厚な国産うなぎを使用。料亭秘伝のタレを塗ったうなぎを絶妙な焼き加減でおいしく仕上げています。

うなぎ蒲焼 1尾 **数量限定**
(うなぎのタレ、山椒付)
本体価格 2,778円 (税込価格3,000円)



松江「小泉八雲が愛したうなぎ」

山美世 **老舗**



八東大根島の井戸水で臭みを取り除き、身を引き締めた肉厚な国産うなぎを使用。鮮度抜群の捌きたてを、1本1本心を込めて焼き上げます。うなぎ独特の臭みが少なく、うなぎが苦手な方にもおすすめ。

数量限定 うなぎ蒲焼 1尾 **本体価格 3,200円** (税込価格3,456円)
(うなぎのタレ付)



丑の日限定! 当日焼いた肉厚の鹿児島産うなぎ!

ご予約特典 **200** ポイントプレゼント
鹿児島産 **数量限定**
うなぎ蒲焼 特大 **本体価格 2,980円**
1尾 約250g (うなぎのタレ付) (税込価格3,218円)



ご予約特典 **100** ポイントプレゼント
うなぎ重 (鹿児島産うなぎ使用)
(うなぎのタレ、山椒付)
本体価格 1,480円
(税込価格1,598円)



ご予約特典 **100** ポイントプレゼント
鹿児島産 **数量限定**
うなぎ蒲焼 大 **本体価格 2,580円**
1尾 約200g (うなぎのタレ付) (税込価格2,786円)



ご予約特典 **50** ポイントプレゼント
うなぎ重 (中国産うなぎ使用)
(うなぎのタレ、山椒付)
本体価格 798円
(税込価格861円)



※限定数に達し次第、締め切らせて頂きます。
※お申し込みはご予約用紙にて、各店サービスカウンターまたは担当者までお申し込みください。

レンジで簡単 鶏肉とスナップエンドウのごま照り焼き



電子レンジで簡単に出来る鶏の照り焼きです。表面にタレがしっかりからまり、中まで味がしみこんでいなくてもおいしいです。お弁当の1品や、忙しい時にさっと出来上がる1品になります。お好みでピーマン、玉葱など他の野菜を入れてもおいしいです。

●材料 (4人分)

手羽元	8本	白ごま	大さじ1
砂糖	大さじ1	スナップエンドウ	12個
しょうゆ	大さじ2	パプリカ	1/2個
片栗粉	大さじ1		

●作り方

- ①スナップエンドウは筋を取る。パプリカは乱切りにする。
- ②鶏肉にフォークを所々刺し味が染みやすくして、耐熱容器に並べる。
- ③砂糖、しょうゆ、片栗粉を混ぜ鶏肉の上にかける。
- ④ラップをふんわりかけ500Wのレンジで6分加熱する。
- ⑤④の中にスナップエンドウ、パプリカを入れラップをして2分加熱する。
- ⑥ラップをはずし手羽元を上下に返し、タレをからめ、ラップをせずレンジに3~4分かける。
- ⑦レンジから出したらタレをよくからめ、照りがでたらごまを加えて混ぜる。

新玉ねぎのサンドイッチ



新玉ねぎは、水分が多くてやわらかく、辛みが少ないので水にさらさず、めんつゆにすぐ漬けましょう。パンに挟まずサラダとしても食べられます。食パンに挟んでもOKです。

●材料 (2人分)

新玉ねぎ	1/2個	めんつゆ	大さじ1~2
アボカド	1/2個	バゲット	適量
スモークサーモン	1パック	マヨネーズ	適量
		(粒マスタード)	あれば適量

●作り方

- ①新玉ねぎは薄い輪切りにしてボウルに入れ、めんつゆをかけ混ぜる。
- ②アボカドは皮をむき種を取り1cm角に切り、①に入れる。
- ③スモークサーモンは食べやすい大きさに切り、①の中に入れサツと混ぜる。
- ④バゲット(フランスパン)を1.5cmの厚さに切り、パンにマヨネーズ、粒マスタードを塗る。
- ⑤③の玉ねぎの汁気をきってパンにのせてはさむ。お好みでケッパーやチャービルをあしらう。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなのおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、邑南町で見られる雲海の風景です。雲海は、昼と夜の気温差が大きい日の早朝に発生するため、見るにはいつもより少し早起きをして、雲海が望める高台を目指す必要があります。高台へは「雲海ロード」と呼ばれる道を進みますが、この雲海ロードも見どころのひとつで、今の時期は道の両脇に約5,000本のあじさいが咲く美しい風景を見ることができます。

編集後記

3年目を迎えた我が家の家庭菜園。本誌のバックナンバー記事を参考に、先日子ども達とトマト、きゅうりなどの苗植えを行いました。住宅街の通りに面している家庭菜園は、たくさんの地域の方々が「見学」されていますが、不格好な菜園が気になるのか、毎年地域の先輩方にご指導いただいています。地域の世代間交流にも一役かっている自慢の家庭菜園です。(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

